

株式会社 免疫生物研究所

JASDAQグロース 証券コード：4570



代表取締役社長 清藤 勉

平成26年11月20日（木）



平成27年3月期 (第33期)

- 1. 第2四半期連結決算**
- 2. 新株予約権の状況**
- 3. 中期経営計画の進捗状況**
- 4. 連結業績予想、中期経営計画**

平成27年3月期 (第33期)

第2四半期連結決算

【連結貸借対照表の概要】

単位：百万円		平成27年3月期 第2四半期末 連結			
			構成比	増減 (前年度末)	主な増減理由
	流動資産	1,675	51.8%	-12	【増加】 株式の取得(Clio)により100百万円 関係会社への貸付40百万円 【減少】 受取手形及び売掛金の残高が42百万円 減少
	(現預金)	1,227	37.9%	+32	
	固定資産	1,559	48.2%	+100	
資産合計		3,234	100%	+87	
	流動負債	276	8.6%	+2	【増加】 銀行からの借入金の借換え及び新規借入 による長期借入金の増加 2億5百万増加
	固定負債	244	7.6%	+166	
負債合計		521	16.1%	+169	
純資産合計		2,713	83.9%	-81	【減少】 四半期純損失の計上による
負債純資産合計		3,234	100%	+87	

【セグメント別売上高(診断・試薬事業)】

単位:千円	H26年3月期 第2四半期 (連結)	H27年3月期 第2四半期 (連結)	差
研究用関連	181,004	171,557	▲9,447
医薬用関連	19,946	46,394	+26,447
合計	200,951	217,951	+17,000

(試薬関連)

前年度末の駆け込み需要の影響等により減少

⇒主力の受託サービスが改善傾向

(診断関連)

独占状態の牛海綿状脳症(BSE)キットの販売が順調に推移

⇒競合他社の撤退

【セグメント別売上高(遺伝子組換えカイコ事業)】

単位:千円	H26年3月期 第2四半期 (連結)	H27年3月期 第2四半期 (連結)	差
遺伝子組換え カイコ	5,034	13,860	+8,825

(遺伝子組換えカイコ事業)

GMP対応を踏まえたパイロットプラントの建設を計画

⇒開発ターゲット(共同研究は着実に進行中)

アステラス製薬株式会社→ヒト型フィブリノゲン

有限会社生物資源研究所→インフルエンザワクチン

⇒アステラス製薬株式会社との共同研究

2020年に上市予定

ヒト型フィブリノゲンを開発するための次期契約締結へ向け、現在の共同研究を現在進行中

【セグメント別売上高(検査事業)】

単位:千円	H26年3月期 第2四半期 (連結)	H27年3月期 第2四半期 (連結)	差
検査事業	39,040	51,953	+12,912

(検査事業)

脂質代謝解析技術を利用した生活習慣病領域での予防・診断支援やペットに対する診断サービスなどの需要が増加する一方、大手製薬企業の臨床試験中止の影響により伸び率が鈍化

⇒期首より寄与(前期は7月より連結)

⇒積極的に人材採用及び設備投資による先行投資

【セグメント別売上高(化粧品事業)】

単位:千円	H26年3月期 第2四半期 (連結)	H27年3月期 第2四半期 (連結)	差
化粧品関連		1,533	

(化粧品事業)

量販店への販路開拓の遅れ、海外販売用及び量販店用の製品化の遅れにより、本格的な売上高への寄与につきましては、本年12月以降となる見込み

- ⇒バラエティショップの採用が具体的に進行
- ⇒テレビショッピングでの取り扱いが具体的に進行
- ⇒海外販売代理店と本格的に交渉開始

平成27年3月期(第33期)
第2四半期連結決算

単位:千円	H26年3月期 第2四半期 (連結)	H27年3月期 第2四半期 (連結)	対前年 同期 増減額
売上高	245,026	285,046	+40,020
営業利益	▲123,513	▲114,197	+9,315
経常利益	▲125,235	▲83,962	+41,273
当期利益	▲139,401	▲81,825	+57,576

■ 経費

共同研究先からの負担金や様々な経費圧縮策を継続
(株)エムコスメティックスの販売活動費用が先行

■ 営業外収益

助成金収入、為替差益、受取補償金を計上

【連結キャッシュ・フロー】

単位:百万円	平成27年3月期 第2四半期 (連結)	前年差	主な要因
営業活動による キャッシュ・フロー	▲2	+14	<ul style="list-style-type: none"> ・減価償却費の計上 +46 ・売上債権の回収 +42 ・税金等調整前四半期純損失 ▲84
投資活動による キャッシュ・フロー	▲180	▲108	<ul style="list-style-type: none"> ・投資有価証券を取得 -100 ・関係会社への資金の貸付 -40 ・有形固定資産を取得 -31
財務活動による キャッシュ・フロー	+204	+151	<ul style="list-style-type: none"> ・銀行から資金の獲得 +205
現金及び現金同等 物の期末残高	1,162	+26	

新株予約権の状況

【第1回新株予約権の行使状況】平成26年10月末日まで

- 新株予約権交付株式数: **700,000株**
- 行使株式数: **340,400株** (行使割合49%)
- 行使金額: **541百万円** (目標調達額: 1,300百万円)
 - ⇒ 中期経営計画を着実に実行
 - 企業価値の向上
 - 株価上昇
 - 目標調達額を達成

株価の低迷により

行使しておりません。

1. 中長期のビジョン
2. 事業別方針
 - 2-1 診断・試薬事業
 - 2-2 遺伝子組換えカイコ事業
 - 2-3 検査事業
 - 2-4 化粧品関連事業

2-1 医薬品、診断・試薬事業(重要課題と戦略)

■ 海外代理店との連携強化

■ 開発項目

- ・外リンパろう体外診断薬の開発
- ・脂質関連項目の自動化・体外診断薬への応用
- ・研究用試薬から体外診断薬への展開
- ・ATL治療薬シーズ研究開発

2-1 医薬品、診断・試薬事業(海外販路拡大)

■ 海外代理店との連携強化

- ・主力製品の積極的な販売支援
当社HPの全面リニューアルにより、販売支援ツールおよび有益情報の提供
- ・国際会議および関連学会への参加
新規顧客獲得、主力製品のPRおよび有益情報の収集
- ・検査センターへの積極的なアプローチ
人的ネットワークを活用し、新規検査項目商材のPR活動

2-1 医薬品、診断・試薬事業(開発項目)

- 高血圧関連項目の測定キットの拡充
血圧調節に係わる因子の測定キットの開発
生活習慣病関連製品の拡充による販売促進およびブランディング強化
- 外リンパろう体外診断薬の開発
めまい、難聴などの原因となる外リンパろうの体外診断薬の開発
大学との共同開発
- 脂質関連キットの自動化・体外診断薬への応用
既存項目を自動化に変更することにより体外診断薬への応用を図る
- 研究用試薬から体外診断薬への展開
国内体外診断薬メーカーとの連携による体外診断薬としての開発
- ATL治療薬シーズ研究開発
大学との共同研究の継続→基礎データの蓄積

2-2 遺伝子組換えカイコ事業

■ 生産体制の構築

■ 医薬品用途での実用化

- ・体外診断薬メーカーへ原料供給
- ・アステラス製薬(株)との共同研究
- ・(有)生物資源研究所とのインフルエンザワクチン共同開発およびプロジェクトの推進

2-2 遺伝子組換えカイコ事業
(生産体制の構築)

繭
生
産
量

本格稼働

本格稼働に向けた

生産工場の取得

施設の概略(予定)

場所:12月決定予定(群馬県内)

稼働:平成28年3月期第3四半期

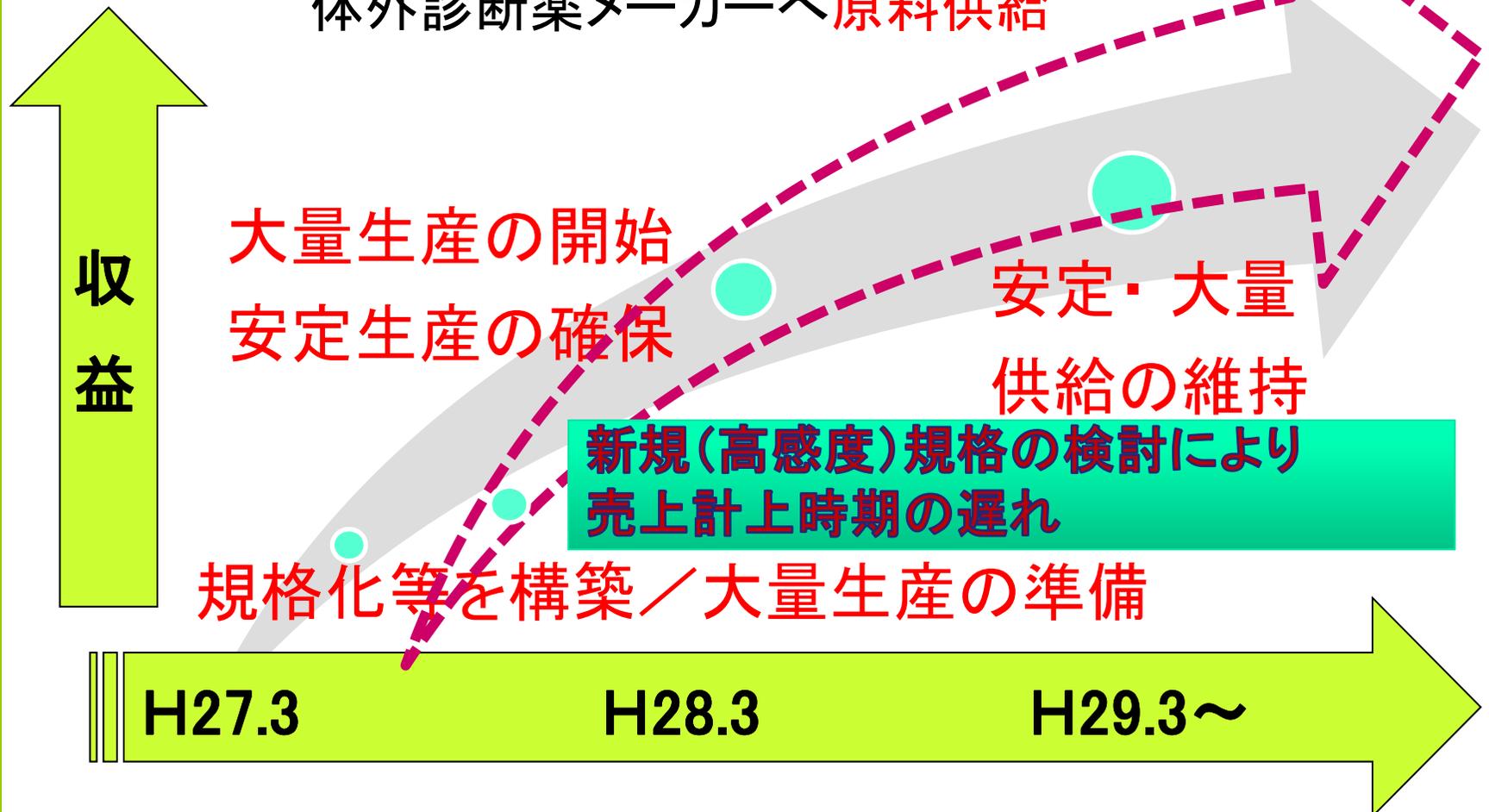
大量生産及びGMP対応に向けた

体制及びパイロット施設の構築

有用タンパク質の実用化

2-2 遺伝子組換えカイコ事業 (医薬品用途での実用化)

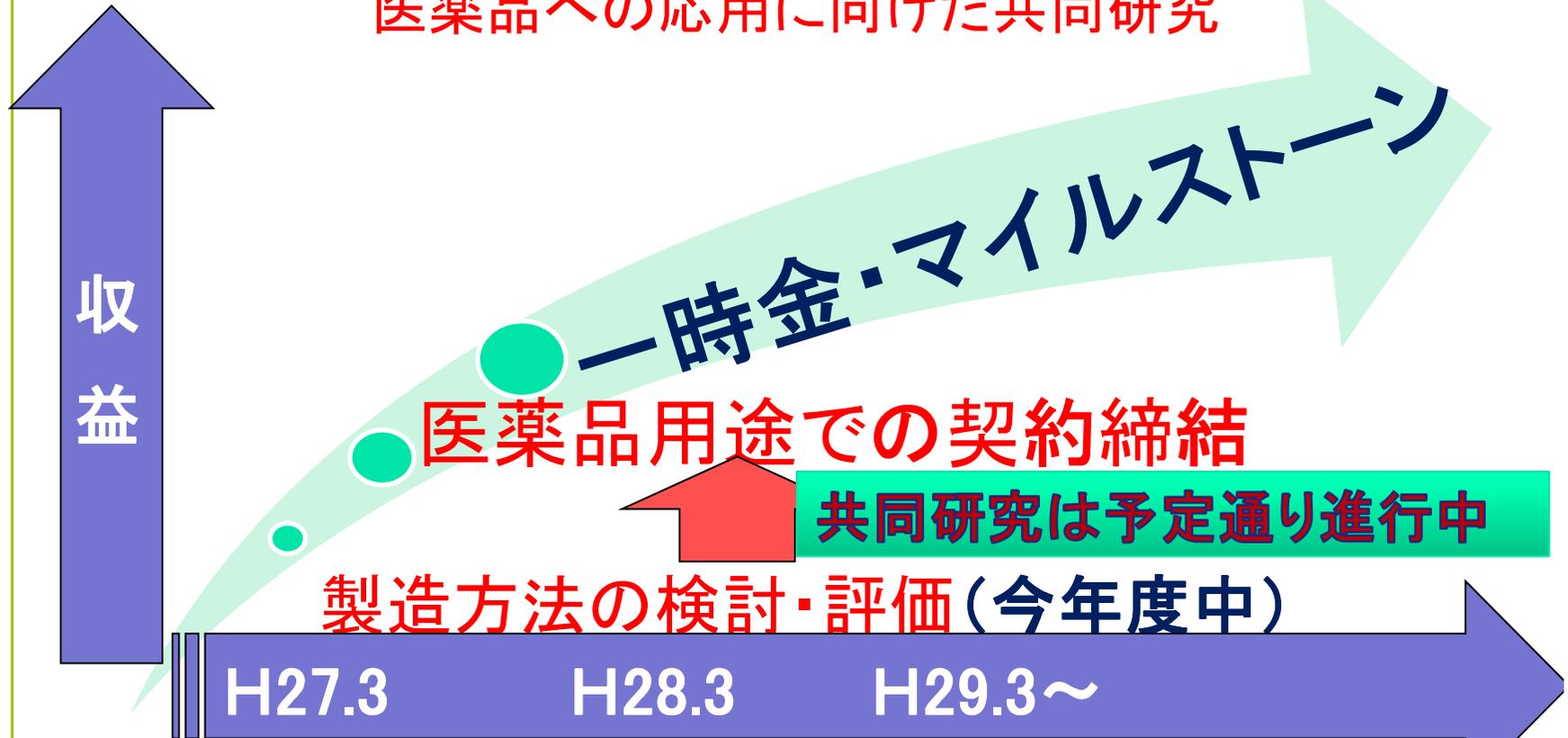
体外診断薬メーカーへ原料供給



2-2 遺伝子組換えカイコ事業 (医薬品用途での実用化)

アステラス製薬(株)との

医薬品への応用に向けた共同研究



注) 検討・評価フェーズの結果により「医薬品用途での契約」は延期又は中止となる場合もあります。

2-2 遺伝子組換えカイコ事業

(医薬品用途での実用化)

(有)生物資源研究所とのインフルエンザ
ワクチン共同開発とプロジェクトの推進

- 第1回日経アジア感染症会議 発表
 - ・組換えHAの発現・抽出・精製に成功
 - ・高い免疫応答が認められた。

(結論)

カイコ繭の組換えHAは、ワクチンとして開発できる可能性大

- カイコの繭に発現されたインフルエンザワクチンに関する特許を出願(H26.2)

更に、H5ウィルスの開発を進めております。

2-3 検査事業

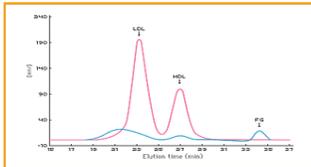
■成長分野(生活習慣病領域)に特化した技術

生活習慣病領域における創薬・研究支援ならびに
各種疾患の予防・診断支援を通じた医療への貢献

研究開発支援事業

・最先端の研究ツールを
活用したサービスの提供

LipoSEARCH



LipoEX

SuperNORM

生活 習慣病

予防医療支援事業

- ・人間ドック受診者におけるメタボリックシンドローム、動脈硬化のリスク判定サービス
- ・各種生活習慣病の新たな診断マーカーやツールの研究・開発

ペット診断支援事業

・動物病院におけるコンパニオン
アニマルの診断支援サービス

LipoTEST

Metabo
CHART

2-3 検査事業

重要課題	戦略
検査サービスの認知度UP 検査項目ラインアップの充実、外部委託の有効活用	<ul style="list-style-type: none">■ 脂質関連学会等への認知度UP■ 信頼できる検査機関との関係強化■ グループシナジーを活かしたPR活動■ 特殊検査事業を視野に入れた設備及び人材育成への投資

2-4 化粧品関連事業

収益

11月～群馬県内で広告掲載(上毛新聞等、7回以上/半年)
⇒フレヴァンを大々的に宣伝

2015.1 テレビショッピング放映決定
⇒平成27年1月上旬(再放送の予定あり)

2014.10 化粧品原料展へ出展(ヒトコラーゲン)
⇒国内外取引先数社と交渉中

H27.3

H28.3

H29.3～

連結業績予想、中期経営計画(連結)

1. 中期経営計画(連結)

(百万円)	H26.3期 (実績)	H27.3期 中間	連結 予想	H28.3期 計画	H29.3期 計画
売上高	670	285	900	1,280	1,750
診断・試薬事業	520	217	570	630	700
遺伝子組換えカイコ事業	26	13	65	150	300
検査事業	123	51	195	350	500
化粧品関連事業	—	1	70	150	250
営業利益(△損失)	△107	△114	10	200	350
経常利益(△損失)	△99	△83	10		
当期純利益(△損失)	△114	△81	3		
注) 上記数値には、アステラス製薬㈱との「医薬品用途での契約」にかかわる売上高及び㈱ネオシルク化粧品の売上高は、含めておりません。					



本発表において提供される資料ならびに情報は、当社経営陣が現時点において入手可能な情報によって判断したものであり、不確実である情報から得られた多くの仮定や考えによって作成されております。実際の成果は、さまざまな要素によって変化するため、業績見通し、開発見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。

実際の業績に影響を与える要素には、国内および国際的な経済情勢、業界ならびに市場の状況、金利および通貨為替の変動、新製品上市の遅延、導出先企業における開発の進捗の遅れ、技術的進歩、競合他社による特許の獲得、国内外の政府による法規制の変更などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。